

国際交流ニュースレター

2010.4~2011.3

Sapporo Medical University

International Exchange News

by Department of international Affairs and Medical Exchange

語学研修

本学の交流協定大学であるアルバータ大学(カナダ)語学研修に、医学部8名、保健医療学部2名 合計10名の学生が参加しました。

研修期間中、同大の語学研修プログラムやホームステイを通し、語学力を向上させるとともに、実際に小児科やリハビリテーション施設などの病院見学を行いカナダの医療システムについても学びました。

・研修期間:8月1日(日)~8月22日(日)



学生交流（臨床実習）

札幌医科大学と中国医科大学との交流は、札幌市と瀋陽市が1980年に姉妹提携したことが契機となり、1984年に交流協定を締結して以来、20年以上交流を行っています。

本交流事業は、アジアで医学を学ぶ学生が共に臨床実習を行うことで、国際的な視野を身につけ専門的な知識を習得することを目指します。

(1) 中国医科大学への学生派遣

医学部第5学年 宮川理華子さんと大島洸人さんを派遣しました。

統合医療の講義を受けたことで中国に興味を持ち、現地の医療を自分の目で確かめたいという二人は、中国医科大学日本語コースで、次により臨床実習を行いました。

- ・9月 6日(月)～9月10日(金): 内分泌科(宮川さん・大島さん)
- ・9月13日(月)～9月17日(金): 血液科(宮川さん)、腎臓内科(大島さん)

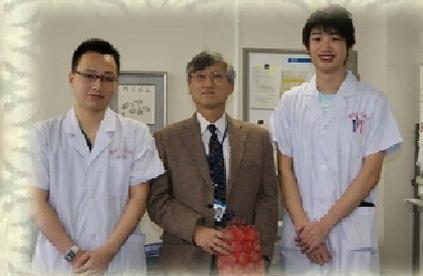


(2) 中国医科大学からの学生受入

中国医科大学医学部5年生、趙楊さんと侯国瑜さんが来学しました。

日本の医療に興味を持ち本学に来学された二人は、次により臨床実習を行いました。

- ・2月 7日(月)～2月10日(木): 耳鼻咽喉科学講座(趙楊さん)
: 内科学第一講座(侯国瑜さん)
- ・2月14日(月)～2月18日(金): 救急・集中治療医学講座(趙楊さん・侯国瑜さん)



大学院生・研究生の短期留学

国際水準の研究者を育成することにより、本学の研究及び教育水準の向上を目的として、本学の大学院生及び研究生を対象に、海外の大学で行う短期留学(研修)に対する助成事業を平成20年度から実施しています。

今年度は、大学院医学研究科 情報伝達制御医学専攻 神経科学領域第3学年の白坂知彦さんがコネチカット州立大学(アメリカ)で、自身の専門である精神科医療全般やアルコール関連問題障害を中心とする研修を行いました。

・11月1日(月)～11月30日(火): Department of Psychiatry School of Medicine, University of Connecticut



教員・研究者の医学交流

本学と交流協定を締結している海外の大学間で、交流研究者の相互交流を行っています。

今年度は4大学へ4名を派遣、3大学から3名の交流研究者が来学しました。

本学は、フィンランド・パウロ財団、アルバータ大学、カルガリー大学、中国医科大学、マサチューセッツ州立大学、佳木斯大学と交流協定を締結しています。

(1) 派遣

① 佳木斯大学 復医学院

- ・交流研究者: 保健医療学部理学療法学科 佐々木健史 助教
- ・交流期間: 8月28日(土)～9月12日(日)

② アルバータ大学 リハビリテーション医学講座

- ・交流研究者: 保健医療学部作業療法学科 中村裕二 助教
- ・交流期間: 8月29日(日)～9月18日(土)

③ 中国医科大学 放射線科

- ・交流研究者: 医学部放射線医学講座 山直也 助教
- ・交流期間: 10月10日(日)～10月23日(土)

④ ヘルシンキ大学 公衆衛生学講座

- ・交流研究者: 医学部衛生学講座 鷲見紋子 講師
- ・交流期間: 2月28日(月)～3月22日(火)



(2) 受入

本学における教育・研究の発展を図るため、交流研究者を講師とする国際医学交流セミナー(以下「セミナー」という)を実施しています。

① 佳木斯大学

- ・交流研究者: 佳木斯大学 康復医学院 李海華 副教授
- ・受入講座: 保健医療学部理学療法学科
- ・交流期間: 11月10日(水)～12月8日(水)
- ・セミナー: 12月2日(木) 「中国のリハビリテーション医学教育と児童のリハビリテーションの現状」

② フィンランド・パウロ財団

- ・交流研究者: イースタンフィンランド大学 Ylermi Soini (ウレルミ・ソイニ) 教授
- ・受入講座: 医学部病理学第一講座
- ・交流期間: 11月29日(月)～1月8日(土)
- ・セミナー: 12月21日(火) 「肺組織と肺腫瘍におけるクローデインについて」

③ 中国医科大学

- ・交流研究者: 中国医科大学第一附属病院呼吸器 王贊峰 講師
- ・受入講座: 医学部内科学第三講座
- ・交流期間: 2月6日(日)～2月20日(日)
- ・セミナー: 2月15日(火) 「新型インフルエンザ(H1N1)の診断と治療の経験」



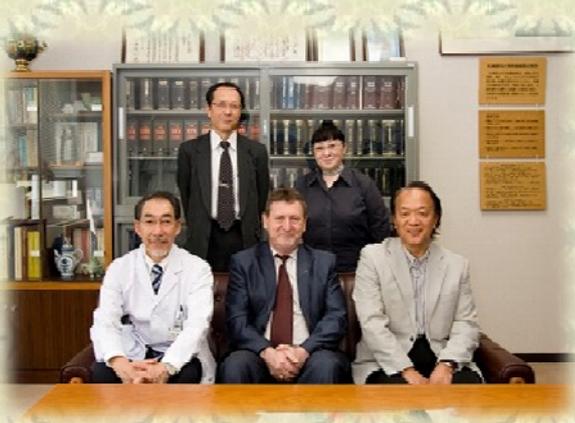
ロシアサハリン州からの研修

ロシア連邦サハリン州立病院 ジェラービン医師が公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金 サハリン州医師研修事業により、本学附属病院で研修を行いました。

公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金(コースチャ基金)は、平成2年にサハリン州から火傷を負ったコンスタンチン君を本学附属病院に緊急搬送し、治療を行った際の義援金を、北海道とサハリン州との医療交流に役立ててほしいという両親の申し出により創設され、現在まで運用されているものです。

平成4年度からスタートした本事業は、平成19年以來、3年ぶりに実施し、17回目を迎えました。

- ・研修日程:5月31日(月)~6月 4日(金):形成外科学
- 6月 7日(月) :救急・集中治療医学講座
- 6月 8日(火)~6月11日(金):皮膚科学講座



仏語圏アフリカからの研修

本学ではJICAの委託を受け、地域別研修「仏語圏アフリカ 母子保健」コースを実施しており、今年度で4年目となります。

本研修ではアフリカ地域住民の健康ニーズに対応した母子保健医療サービスの提供を目指し、研修員の所属する機関における人材育成のための教育・研修の充実を図ることを目的に、札幌近郊ばかりでなく中標津町や別海町において、母子保健関係の医療機関、大学及び行政機関等で日本の母子保健の実態と人材育成について研修を行いました。

- ・参加国
仏語圏アフリカ8か国:8名(ベナン、ブルキナファソ、チャド、コートジボワール、コンゴ民主共和国、マリ、モーリタニア、セネガル)、ハイチ共和国:1名
- ・研修期間:10月4日(月)~11月5日(金)



報告会・懇談会

(1) 札幌医科大学国際交流活動報告会

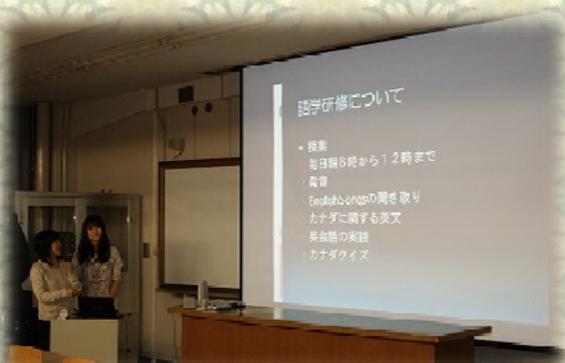
国際医学交流事業(旧:北方医学交流事業)をはじめとする交流事業を展開しており、本学から海外の大学へ派遣した方の交流・研究成果を広く共有し、本学の教育・研究の発展に役立てるため、例年、札幌医科大学国際交流活動報告会を実施しています。

今年度は、学長をはじめ50人以上の学生・教員に参加いただきました。

・日時:1月27日(木)

・場所:北第1講義室

・報告:北方医学交流事業(中国医科大学) 浅井康文教授
語学研修(アルバータ大学) 医学部 齋藤光里さん・新川知世さん
中国医科大学臨床実習派遣事業 医学部 宮川理華子さん・大島洸人さん
札幌医科大学短期留学助成事業 医学研究科 白坂知彦さん
国際医学交流事業(佳木斯大学) 佐々木健史助教
(アルバータ大学) 中村裕二助教
(中国医科大学) 山直也助教



報告会・懇談会

(2) 札幌医科大学国際交流懇談会

本学に在籍する外国人留学生、訪問研究員と学長をはじめとする関係教員、国際交流関係者による札幌医科大学国際交流懇談会を実施しています。

この懇談会は、相互理解を深めるとともに、本学の教育・研究に関する意見を伺うことにより、本学の国際化の推進に役立てることを目的としています。

今年度は、留学生3名と訪問研究員3名をお招きし、学長、国際交流部長、保健医療学部長、医学部 森教授・齋藤教授、保健医療学部 松山教授に参加いただきました。

・日時：3月8日(火)

・場所：札幌プリンスホテル国際館パミール



学部間交流

本学保健医療学部と香港理工大学保健社会科学部(Faculty of Health and Social Sciences)間で、研究者による交流を進めていく旨の覚書(MOU)が交わされ、香港理工大学において、2月18日に調印式が実施されました。



発行：平成23年3月

編集：札幌医科大学国際交流部（事務局経営企画課 主査（国際・学術交流））

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話：011-611-2111(内線2166)

FAX：011-611-2237